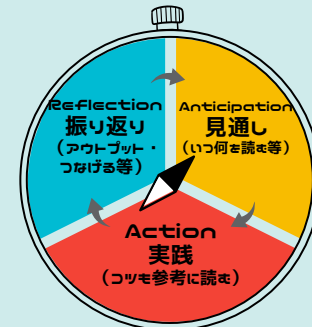


自己成長するための読書スキル ～読書家になるための6つのコツ～



読書習慣が身に付けば、一生モノ！ここでは読書スキルとして、6つのコツ（主・対・深の3視点）を紹介します。読書には、他者の考え方やものの見方、経験等を疑似的に体験（学習）できるよさがあります。6つのコツを色々と試しながら、最終的には自分に合う読書術を見つけていき、生き方を豊かにしましょう。この世の中にある数多の“知”の冒険の主人公はアナタです！めざせ伝説の読書家！
☆読書スキルは一人一人合うものが違います。また、本のレベルや自分の状況によっても変わるので、自分で判断し、カスタマイズさせて使い分けることが大切です。

深める 読書スキル

アウトプット



感想を言う・書く（気づき、学び、共感、疑問、考えたこと、成長等）、書評を書く、要約する、図解する、関係図を書く、誰かに紹介する、読書日記を書く、学んだ内容を生活の中で実践してみる、続きを創作する、自分ならこうする・こう書く等を考える…等

主体的な読書スキル

習慣化する



毎日〇分と決めて読む（いきなり長い時間設定は△）、読む時間帯を決める（〇時から読書タイム、歯磨きの後等）、自分のレベルに合った本を読む、好きなジャンルの本を読む、色んな場所に本を置いておく、本屋や図書館へ行ってみる、本を持ち歩く…等

対話的な読書スキル

本と対話する



本に線やメモを書きながら読む（好き、嫌い、疑問、気づき、学び等）、本につっこみを入れたり質問したりしながら読む、批判的に読む（主張の妥当性を見極める、他の本とも比べてみる等）、自分の生活や生き方を本を通して問いかけてみる（本を通して自分の価値観や信念に向き合う）…等

つなげる



知っていることや過去の経験等とつながらながら読む、自分の考えと比較する、学びや気づきをつなげて構造化する（マインドマップ等）、今後につなげる（新たな目標、チャレンジしたいこと等）、他の本との違いを考える、同じ著者の本や似たジャンルの本を読んでみる（広げ読み）…等

調整する



目次から見通しを立てる（読みたい箇所だけ読むでもOK）、緩急つけて読む、隙間時間に読む、毎回「全部読まない」と次の本へいけない」という考えをやめる、目的・関心・レベルに応じて本を選択、レベルが高・低を交互に読む、集中できる環境で読む、ジャンルごとに読み方を変える…等

他者と対話する



本の感想を伝え合う、オススメの本を紹介・教えてもらう、本の内容を誰かに説明する、ビブリオバトル（書評コンテスト）をする、他者の読書感想文や書評を読んでもみる、考察を伝え合う、読書会に参加してみる、本の感想サイト等で自分の感想と比べてみる…等